

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象取組No	調査対象取組項目
1	五條市②	53	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

設問① 具体的な取組内容をご教示ください。
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

小中学生を対象にパワーポイントを使って過去の水害に関する説明やハザードマップを活用した浸水エリア・避難施設の確認などの防災教育を実施

日 時 ①令和5年9月14日 ②令和5年10月26日
参加機関 ①五條市危機管理課 五條南小学校 4年生 37名
②五條市危機管理課 五條小学校 4年生 27名

五條南小学校の様子



五條小学校の様子



設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

▼工夫点・感想等

パワーポイントで実際に写真や資料を見ることやクイズ形式で参加してもらうことで、難しい言葉で説明するよりも伝えたいポイントや災害の様子がイメージしやすかったものと思われる。

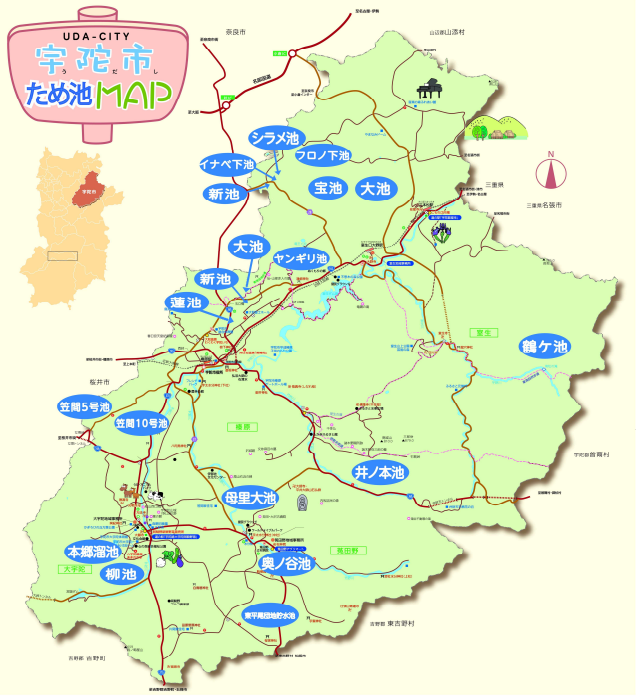
また、ハザードマップを初めて見る子どもたちも多いため、地区ごとに作成しているハザードマップを配布し、自分たちの地域を舞台に自宅や学校、避難所を結ぶ経路にどのような危険箇所があるか学んでもらうことができた。

設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

毎年実施

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象 取組No	調査対象 取組項目	ため池ハザードマップへの作成、周知
2	宇陀市	19		
設問①	<p>具体的な取組内容をご教示ください。 ※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。</p> <p>宇陀市内において点在する農業ため池の内、貯水量及び立地条件から決壊した際に危険なため池は19池ございます。これらのため池のハザードマップを作成し、ホームページにおいて、掲載・周知しています。</p> <p>記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。 https://www.city.uda.nara.jp/nourin/sangyou/nougyou/nougyoushinkou/documents/t-1.jpg</p> 			
設問②	<p>取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。</p> <p>記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。</p>			
設問③	<p>取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。</p>			

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象 取組No	調査対象 取組項目	
7	川上村	26		避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な避難場所の確保
設問①	具体的な取組内容をご教示ください。 ※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。			
記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。 行政の取組みではありませんが、地区内においてこれまでの経験により危険個所が地区内で共有されていることが前提で、避難が遅れてしまった場合は臨時的により安全と思われる家庭への避難を行っている				
設問②	取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。			
記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。 安全を保障するものでもないかつ行政が主導しているものでもないので回答困難				
設問③	取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。			

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象取組No	調査対象取組項目
5	下市町①	19	ため池ハザードマップへの作成、周知

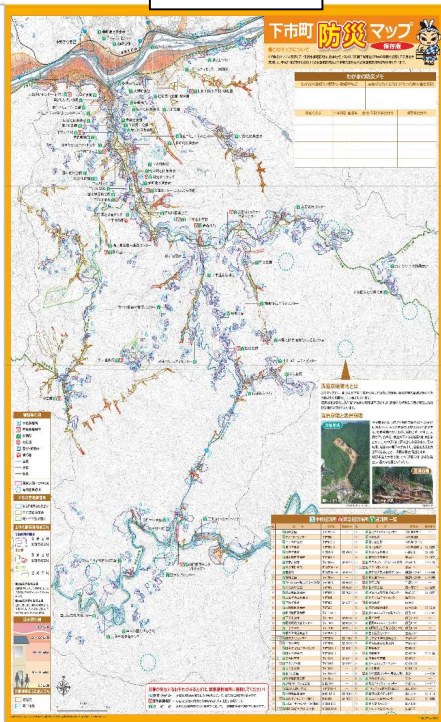
設問① 具体的な取組内容をご教示ください。
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

表

裏

- ・令和3年3月に改訂
- ・毎年4月の広報誌に同封し町民へ配布
- ・R7年度に改訂予定
- ・社会資本整備総合交付金事業の補助金を利用



設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。
地図の作成、印刷を外部委託し、質を上げた。

設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

約10ヶ月